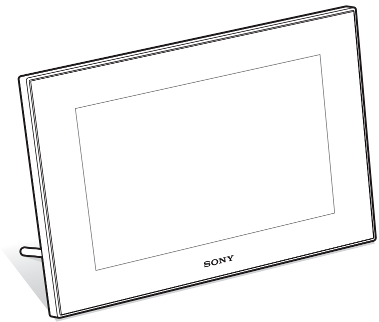
SONY

3-300-208-**03** (1)

デジタルフォト フレーム

DPF-V900/V700



取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MEMORY STICK ™　HDMI　BRAVIA プレミアム・フォト

S-Frame

⚠警告 安全のために

➡52 ～ 55 ページもあわせてお読みください。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。
しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、
火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

52 ～ 55 ページの注意事項をよくお読みください。

⬇

定期的に点検する

1 年に 1 度は、電源コードに傷みがないか、プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

⬇

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本体またはリモコンが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理をご依頼ください。

⬇

万一異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



➡

1. **電源を切る**
2. **電源プラグをコンセントから抜く**
3. **お買い上げ店またはソニーの相談窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。
表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ACアダプターは容易に手が届くようなコンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

各種 CD、TV 映像、画像等著作権の対象となっている著作物、その他あなたが撮影、制作した映像以外のものを複製、編集、印刷することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物、編集物、印刷物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製、編集、印刷や、複製物、編集物、印刷物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。また、本機においての写真の画像データを利用する場合は、上記著作権侵害にあたる利用方法は厳重にお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。なお、実演、興行、展示物の中には撮影を限定している場合がありますのでご注意ください。

記録内容の保証はできません
万一、本製品の不具合により、記録ができなかった場合、および記録内容が破損または消去された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

バックアップのおすすめ
万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

ご注意

- 画面に表示される画像と実際の画像では、画質または色が異なる場合があります。これは、発色方法の違いや液晶画面個々の特性の違いによるもので、画面に表示される画像はあくまで目安とお考えください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 液晶画面を太陽に向けたままにしないでください。故障の原因となります。
- 液晶画面は有効画素 99.99% 以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません
- 寒い場所で使うと、画面が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。

商標について

- S-Frame、BRAVIA、“BRAVIAプレミアムフォト”、Cyber-shot、MEMORY STICK、“Memory Stick”、“メモリースティック”、MEMORY STICK、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック Duo”、“メモリースティック デュオ”、MEMORY STICK DUO、“MagicGate Memory Stick”、“マジックゲートメモリースティック”、“Memory Stick PRO”、“メモリースティック PRO”、MEMORY STICK PRO、“Memory Stick PRO Duo”、“メモリースティック PRO Duo”、“メモリースティック PRO デュオ”、MEMORY STICK PRO DUO、“Memory Stick PRO-HG Duo”、“メモリースティック PRO-HG Duo”、MEMORY STICK PRO-HG DUO、“Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”、MEMORY STICK MICRO、M2、“Memory Stick-ROM”、“メモリースティック - ROM”、MEMORY STICK-ROM、“MagicGate”、“マジックゲート”、MAGICGATE は、ソニー株式会社の商標または登録商標です。
- HDMI、HDMI、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標または商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国サンディスク社の商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card™ は、富士フイルム（株）の商標です。
- BLUETOOTH™ は、その商標権利者が所有しており、ソニーはライセンスに基づき使用しています。
- FotoNation は、米国 FotoNation Inc. の商標です。
- SILKYPIX® は、（株）市川ソフトラボラトリー社の商標です。
- Monotype Imaging Inc. の iType™ を搭載しています。iType™ は、Monotype Imaging Inc. の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。
- 本機の顔検出機能は、ソニー株式会社が開発した顔画像認識技術により実現しています。

目次

はじめに

使ってみよう（基本編）

いろいろな機能を使ってみよう（応用編）

外部機器を使う

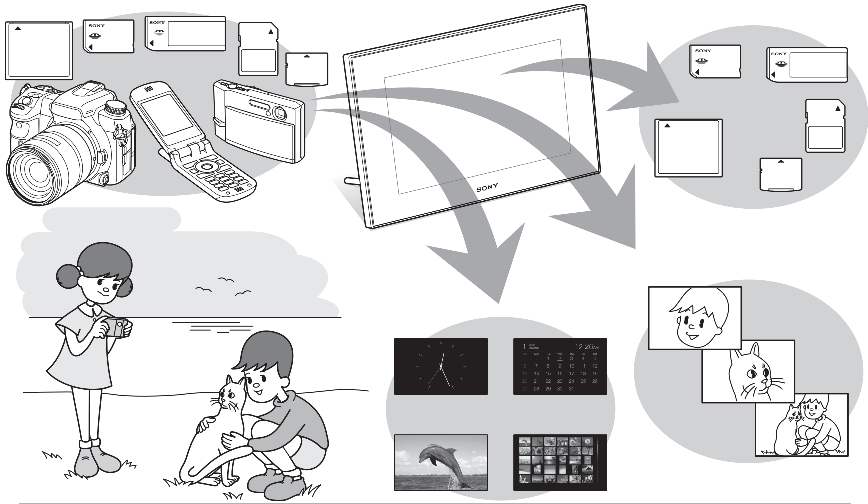
エラーメッセージ一覧

困ったときは

その他

本書のイラスト、画面表示について
特に説明が必要な所を除き、DPF-V900 を使用しています。

楽しみかたいろいろ、フォトフレーム



メモリーカードやデジタルカメラなど外部機器の画像を簡単表示

様々な表示機能

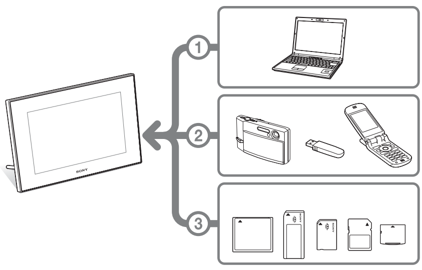
スライドショーのほかに、一枚表示、インデックス、時計、カレンダーなどが簡単操作で楽しめます。→19 ページ

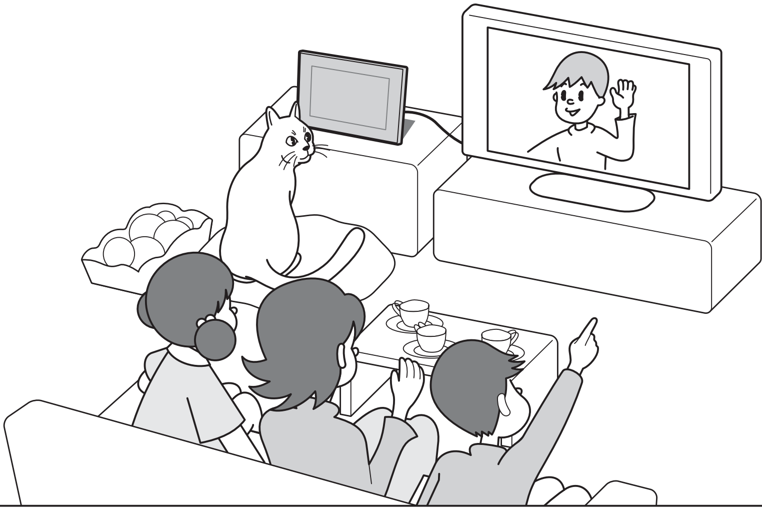
大切な画像をアルバムに追加（内蔵メモリーに保存）

アルバムに追加した画像は、内蔵メモリーに保存されます。また、メモリーカードや外部機器に書き出して、データのやりとりができます。
→26 ページ

本機の入力について

本機に複数のデバイスが接続されている場合、以下のようにコンピューター、外部機器、メモリーカードの順に入力が優先されます。メモリーカード内では、先に接続されたカードが優先されて表示されます。

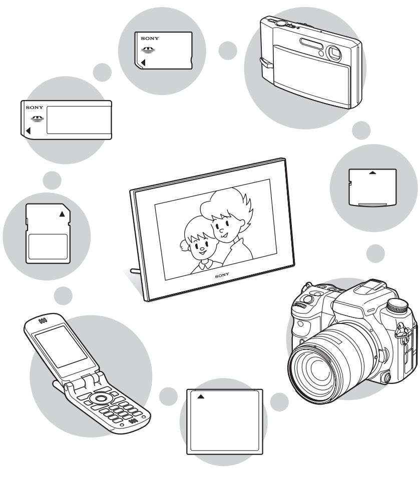




画像をテレビの大画面で楽しむ

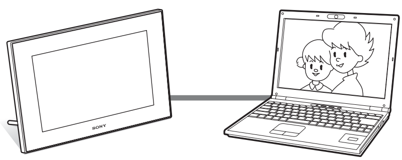
フォトフレームをテレビに HDMI ケーブルで接続すれば、
スライドショーや一枚表示などが、大画面で楽しめます。
→34 ページ

いろいろな機器につなげます



コンピューターともつなげます

簡単にコンピューターの画像ファイルをフォトフレームにコピーしたり、アルバムに追加した画像をバックアップとしてコンピューターに保存することができます。
また、メモリーカードや USB メモリーなどを使って画像ファイルをやりとりしたり、Bluetooth 対応機器から画像ファイルをコピーすることができます。



特長

ソニーデジタルフォトフレーム DPF-V900/V700 は、デジタルカメラなどで撮影した画像を、コンピューターを使用せずに簡単にディスプレイに表示できるデジタルフォトフレームです。

- **様々なメモリーカードに対応 ***
  “ メモリースティック ”、コンパクトフラッシュカード、SD メモリーカード、xD-Picture Card など、デジタルカメラなどで使用される様々なメモリーカードに対応しています。デジタルカメラなどから抜いたメモリーカードをそのまま差し込むだけで、すぐに画像の表示ができます。
- **Bluetooth 対応の携帯電話などで撮った画像を簡単転送 ***
  Bluetooth アダプター（別売）を使用して、Bluetooth 対応機器からの画像を内蔵メモリーに転送し、表示することができます。
- **USB メモリーなどマスストレージ対応機器にも対応 ***
- **ハイビジョンテレビに接続し、大画面で画像を表示**
  本機は、HDMI 出力端子を装備しており、ハイビジョンテレビにつなぎ、メモリーカード、外部機器、内蔵メモリーの画像を大画面で楽しむことができます。
- **多彩なスライドショー**
  まるでアルバムをめくるように、自動的に画像を切り換えて表示します。時計やカレンダーをモチーフとしたスライドショーを含め、複数のパターンから選べます。また、再生順など、再生条件の設定ができます。
- **様々な表示機能**
  アナログ時計、デジタル時計、カレンダーを表示できます。また、一枚表示、インデックス表示、ズームや全画面表示などで画像表示できます。
- **縦置き、横置き自由自在**
  傾斜センサーにより、フレームのおき方（縦置き、横置き）に連動して、表示される画像が自動的に回転します（メニュー画面は回転しません）。
- **リモコンによる簡単操作**
- **画像をアルバムに追加**
  アルバムに追加した画像は、内蔵メモリーに保存されます。
- **画像の書き出し**
  画像の書き出し機能により、アルバム内の画像をメモリーカードに書き出せます。
- **くっきり補正機能**
  逆光、ピンボケ、赤目、美肌補正によって、画像を自動的に補正し、美しく表示します。
- **コンピューターに接続して画像のやりとりができます**

* すべての機器との動作を保証するものではありません。

同梱品を確認する

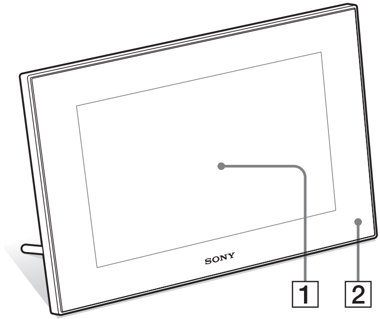
梱包箱から取り出したら、次の同梱品がそろっているか確認してください。

- デジタルフォトフレーム(1 個)
- リモコン(1 個)
- AC アダプター(1 個)
- 電源コード（1 本）
- 取扱説明書(本書)(1 部)
- 保証書(1 部)
- カスタマー登録のご案内(1 部)

各部の名前

詳しい説明は、(　)内のページをご覧ください。
イラストは DPF-V900 です。DPF-V700 は、液晶画面の大きさが違いますが、ボタン、端子の位置、名称は DPF-V900 と同じです。

本体前面

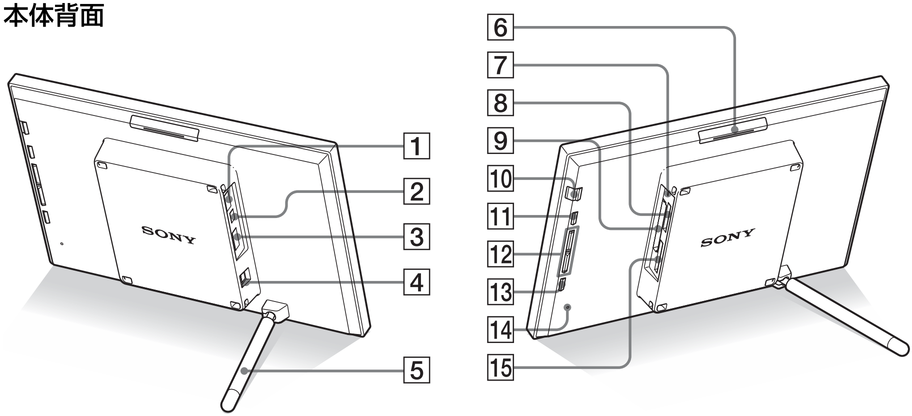


1 **液晶画面**

2 **リモコン受光部**
付属のリモコンを受光部に向けて、操作します。

次のページにつづく

本体背面



1 USB A/Bluetoothアダプター(型名:DPPA-BT1)対応端子
(36 ページ)
BLUETOOTH™ 対応の携帯電話やデジタルカメラから無線で画像を転送するときに、Bluetooth アダプター(別売)を接続する端子です。
USB マスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続するときも使用します。

2 USB miniB 端子(37 ページ)
本機をコンピューターにつないでお使いになるときに、USB ケーブルを差し込む端子です。

3 HDMI OUT 端子(34 ページ)
本機をハイビジョンテレビにつないでお使いになるときに、HDMI ケーブルを差し込む端子です。

4 DC IN 8.4V 端子(13 ページ)
付属の AC アダプターのプラグを差し込み、電源コードで AC アダプターと家庭用電源を接続します。

5 スタンド(14 ページ)

6 VIEW MODE(表示モード)ボタン

7 アクセスランプ

8 " メモリースティック PRO" (スタンダード/デュオ)スロット
(17 ページ)

9 コンパクトフラッシュカード/マイクロドライブスロット
(17 ページ)

10 (電源)ボタン/ STANDBY ランプ

11 MENU(メニュー)ボタン
メニューを表示します。
[スライドショー]、[回転]、[アルバムに追加]、[時計] などの機能を本体から実行できます。

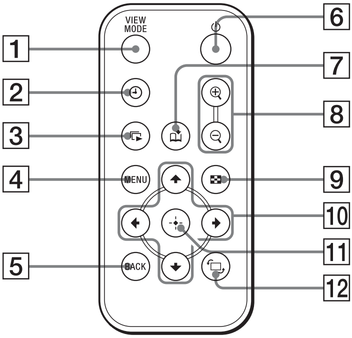
12 方向(↓/↑)ボタン
カーソルを動かします。

13 ENTER(決定)ボタン

14 リセットスイッチ
強制的に電源を切ります。
日時設定のみ工場出荷時の設定に戻ります。先端の細い物で押してください(45 ページ)。

15 SD メモリーカード/ MMC / xD-Picture Card スロット
(17 ページ)

リモコン



1 VIEW MODE（表示モード）ボタン

2 ⌚（時計）ボタン（→23 ページ）

3 ⧉（スライドショー）ボタン
（→20 ページ）

4 MENU（メニュー）ボタン

5 BACK（戻る）ボタン

6 ⏻（電源）ボタン

7 📖（アルバムに追加）ボタン
（→26 ページ）

8 ⊕（拡大）／⊖（縮小）ボタン
（→25 ページ）

9 ▦（インデックス）ボタン
（→22 ページ）
一枚表示画面からインデックス画面に切り換えます。

10 方向（←/→/↓/↑）ボタン

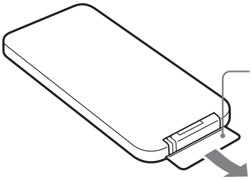
11 ✥（決定）ボタン

12 ↻（回転）ボタン（→25 ページ）

はじめに

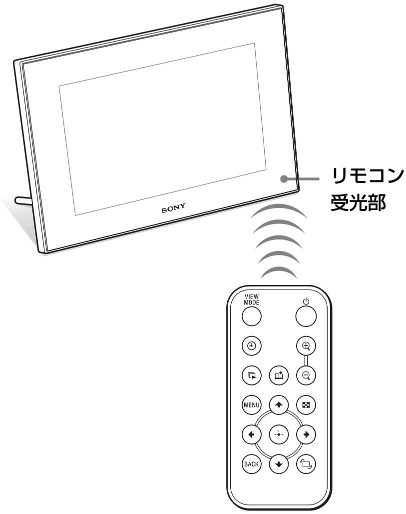
リモコンを準備する

付属のリチウム電池（CR2025）があらかじめリモコンの中に入っています。図のように保護シートを引き抜いてから使用してください。



リモコンを使うときは

リモコンの先端を、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

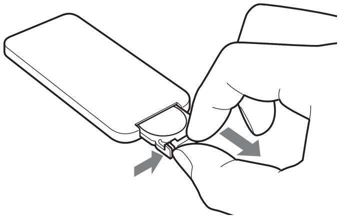


リモコンの電池を交換するときは

リモコンが動作しなくなったら、新しい電池（CR2025 リチウム電池）に交換してください。

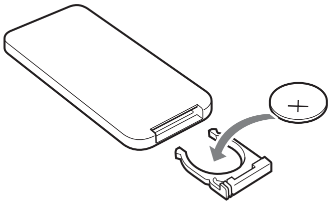
1 **電池ホルダーを引き出す。**

電池ホルダーのタブを内側に押さえながら、電池ホルダーを引き出します。



2 **古い電池を電池ホルダーから取り出し、新しい電池を入れる。**

電池の＋が上になるように入れてください。



3 **電池ホルダーを元どおりリモコンに挿入する。**

ご注意

- 指定以外の電池を使うと、破裂のおそれがあります。
- 使用済みの電池は、自治体の定めた方法で処分してください。
- 高温多湿の場所にリモコンを放置しないでください。
- 電池の交換時などに、リモコン内部に異物が入らないようにしてください。

- 電池は正しく使わないと、液漏れや腐敗のおそれがあります。
  – 充電はしないでください。
  – リモコンを長期間使用しないときは、液漏れや腐敗を防ぐため、電池をリモコンから抜いてください。
  – 間違った入れ方をしたり、ショートさせたり、分解、加熱、火中に投入したりすると、破裂や液漏れのおそれがあります。

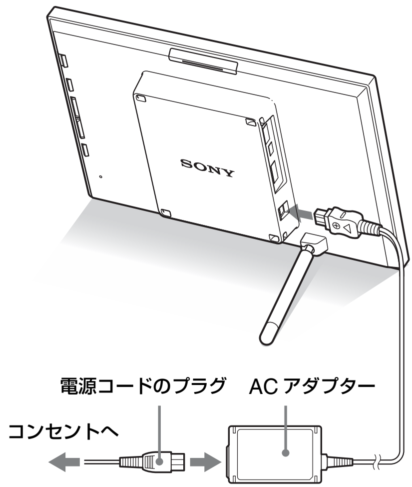
本書での説明について

取扱説明書内の操作は、リモコン操作を基本に説明をしています。リモコンと本体ボタンで操作が異なる場合は「ちょっと一言」で説明をしています。

電源をつなぐ

1 AC アダプターのプラグを本機背面の DC IN 8.4V 端子につなぐ。

2 電源コードのプラグを AC アダプターとコンセントに差込む。



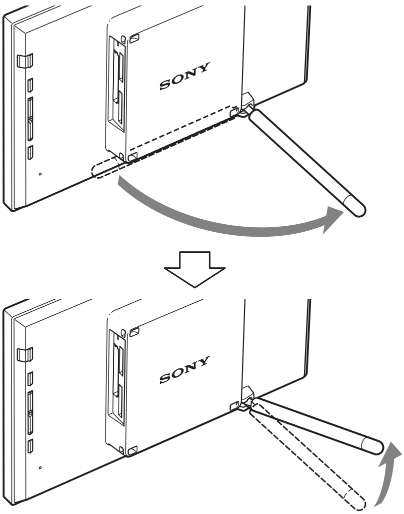
ご注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かないでください。
- AC アダプターは、お手近なコンセントを使用してください。使用中、不具合が生じた時は、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- AC アダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- 使い終わったら、AC アダプターを本機の DC IN 8.4V 端子から、電源コードをコンセントから取りはずしてください。

スタンドを
セットする

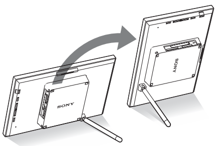
スタンドを開く

以下のようにスタンドを開いて、セットします。

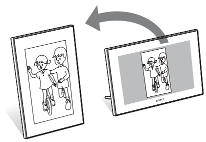


縦または横にする

本機は、スタンド部を動かさずに、本体を回転させることにより、縦横どちらでもセットすることができます。



縦にして、操作ボタンが上にくるようにすると、画像も自動的に縦に表示されます。



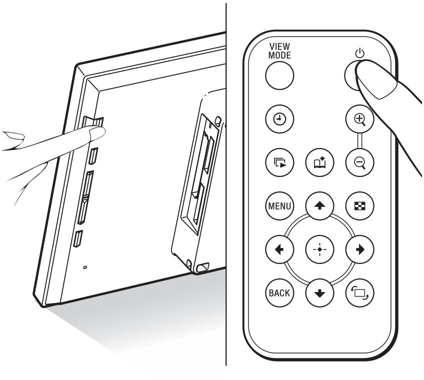
ご注意

- スタンドを開く、または閉じるときに、指をはさまないようにご注意ください。
- 移動するときは、スタンドを閉じてください。
- スタンドが安定しているかどうかご確認ください。中途半端な状態で立てると、倒れる場合があります。
- 縦回転時にはメニュー、撮影情報表示およびインデックス表示は回転しません。また、Sonyロゴは点灯しません。

電源を入れる

電源を入れる

本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを押します。本体の STANDBY ランプが赤から緑に変わります。



ご注意

- AC アダプターをコンセントにつなぐと、STANDBY ランプが赤く点灯します。

電源を切る

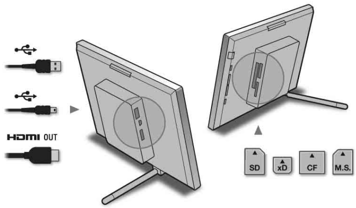
本体またはリモコンの ⏻（電源）ボタンを電源が切れるまで押し続けます。本体の STANDBY ランプが緑から赤に変わります。

ご注意

- STANDBYランプが赤に変わる前に、ACアダプターをコンセントや DC IN 8.4V 端子から抜かないでください。故障の原因となることがあります。

初期画面について

メモリーカードや外部機器を接続しないで電源を入れると、下の初期画面が表示されます。



何も操作せずに 10 秒が経過すると、デモモードが表示されます。デモモードで電源以外のボタンを押すと、初期画面に戻ります。

まずはじめに、初期画面で MENU（メニュー）ボタンを押して、メニュー画面から日時を設定してください。

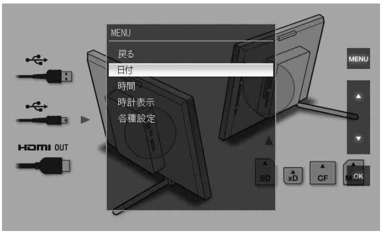
時計を設定する

時計／カレンダー表示モードで正確な時刻を表示するために、本機の時計合わせをしておく必要があります。

1 **リモコンのMENU（メニュー）ボタンを押す。**
メニュー画面が表示されます。

2 **↓/↑で［各種設定］を選び、⊕ボタンを押す。**

3 **↓/↑で［時計設定］を選び、⊕ボタンを押す。**
時計設定画面が表示されます。



4 **日付の書式を選ぶ。**
①↓/↑ボタンで［日付表示順］を選び、⊕ボタンを押す。
②↓/↑ボタンで書式を選び、⊕ボタンを押す。
- 年／月／日
- 月／日／年
- 日／月／年

5 **日付を合わせる。**
①↓/↑で［日付］を選び、⊕ボタンを押す。
②↓/↑ボタンで数値を設定し、⊕ボタンを押す。

6 **時間を合わせる。**
①↓/↑で［時間］を選び、⊕ボタンを押す。
②↓/↑ボタンで数値を設定し、⊕ボタンを押す。
時、分、秒の順に次の項目が選ばれます。同じ操作を繰り返します。

7 **カレンダーの開始曜日を設定する。**
カレンダー表示時にカレンダーの左端の曜日を設定することができます。
①↓/↑で［開始曜日］を選び、⊕ボタンを押す。
②↓/↑ボタンで［日曜日］または［月曜日］を選び、⊕ボタンを押す。

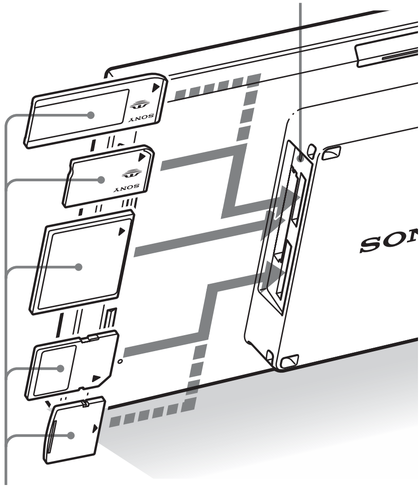
8 **MENU（メニュー）ボタンを押す。**
メニュー画面が終了します。

メモリーカードを入れて画像を見る

メモリーカードを挿入し、画像のスライドショーを表示する一般的な操作について説明します。

メモリーカードを入れる

本体の背面から見て、メモリーカードの表面を手前にして、それぞれのスロットにしっかりと奥まで入れます。
本機で使用できるメモリーカードの詳細については、47 ～ 49 ページをご覧ください。



上から、“ メモリースティック ”(“ メモリースティック デュオ”)、コンパクトフラッシュカード、SD メモリーカード、xD-Picture Card をそれぞれのスロットに入れます。

メモリーカードを取り出すには

本機のそれぞれのスロットから、メモリーカードを挿入した方向と逆の方向へ取り出します。

ご注意

- メモリカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- 本機には、“メモリースティック”スタンダード／デュオ対応スロットが搭載されていますので、メモリースティックアダプターは不要です。
- SD メモリーカード／ xD-Picture Card 兼用スロットは、自動的にカードタイプを検出します。
- メモリーカードご使用の際は、47 ページをご覧ください。

表示される画像の優先順位について

メモリーカードを挿入または外部機器を接続すると、挿入したメモリーカードまたは接続した外部機器の画像が自動的に表示されます。
表示するメモリーカードまたは外部機器を切り換えるには、［再生デバイス指定］メニューで指定します。（25 ページ）

表示される再生デバイスの優先順位は以下のとおりです。

- **USB A 端子に機器が接続されている場合**
  USB A 端子に接続された機器が優先して表示されます。メモリーカード内の画像を表示するには、USB A 端子に接続されている機器を外すか、または［再生デバイス指定］メニューで指定してください。
- **電源を入れた状態で複数のメモリーカードを挿入した場合**
  先に挿入したメモリーカードの画像が優先して表示されます。

次のページにつづく

- **電源を切った状態で複数のメモリーカードを挿入し、電源を入れた場合**
  以下の優先順位で表示されます。
  " メモリースティック " ➔ コンパクトフラッシュカード ➔ SD メモリーカード／xD-Picture Card
- **何も挿入・接続されていない場合**
  内蔵メモリーのアルバムに保存されている画像が表示されます。

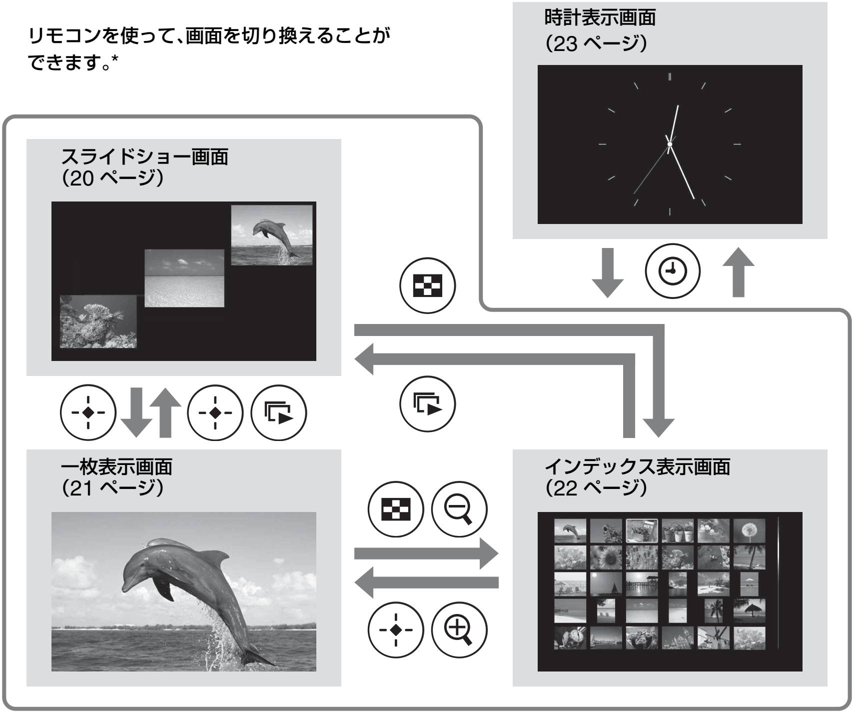
ご注意

表示可能なファイル形式は、DCF 準拠の JPEG ファイル、ソニーのデジタルカメラで撮影された RAW ファイルです。それ以外のファイル形式（コンピューターで制作・加工したファイル、ソニー以外のデジタルカメラで撮影された RAW ファイルなど）は、表示できない場合があります。

画像を表示する

■ 画面の概要

リモコンを使って、画面を切り換えることができます。*



ちょっと一言 *

- メモリーカードを挿入せず、内蔵メモリーに画像が保存されていない場合は、自動的にデモモードが開始します。画像の入ったメモリーカードを挿入する、または電源以外のいずれかのボタンを押すと、デモモードは終了します。
- 電源を切ったのち、再度電源を入れると、電源を切る直前の表示モードで表示されます。ただし、回転させた画像は回転前の状態に戻ります。常に回転させた状態にするには、デジタルカメラで回転させて記録してください。

次のページにつづく

■ スライドショー画面の操作

メモリーカード内の画像を次々と自動的に表示します。

ちょっと一言

画像の再生順については 31 ページをご覧ください。

スライドショーを表示するには

- 一枚表示、時計表示、またはインデックス表示から、（スライドショー）ボタンを押します。

ちょっと一言

本体で操作するときは、一枚表示のときに -✦- ENTER ボタンを押します。

本機には、次のスライドショーパターンがあり、VIEW MODE ボタンを押すと、次の順にパターンが切り換わります。

ちょっと一言

シングル表示パターンおよびカレンダー表示パターンの切り換え間隔、シングル表示パターンのエフェクト（効果）、再生順の変更は「スライドショー設定」メニュー（31 ページ）で設定することができます。

シングル表示パターン

1 つの画面を、設定画面で指定されたエフェクトを使って、次々と表示するパターンです。



マルチ表示パターン

複数画像を用いて表示するパターンです。



時計表示パターン

表示された画像とあわせて、撮影日時情報を表示するパターンです。

ご注意

現在の日時は表示されません。



カレンダー表示パターン

カレンダーを表示しながら、画像を次々に表示するパターンです。

ご注意

現在の日時が表示されます。



ランダム表示パターン

上記の 4 つのスライドショーパターンと複数のエフェクトをランダムに切り換えながら表示するパターンです。

ご注意

- エフェクト（効果）の設定はシングル表示パターンの場合にのみ有効です。
- スライドショー中は削除メニューが表示されません。画像を削除したい場合は、一枚表示画面に切り換えてください。

■ 一枚表示画面の操作

一枚表示画面を表示するには

- スライドショー中に、表示したい画像が現れたら⊕ボタンを押します。
- インデックス表示画面では、表示したい画像を ←/→/↓/↑ で選び、⊕ボタンを押します。または⊕（拡大）ボタンを押します。

ちょっと一言

本体で操作するとき、スライドショーでは表示したい画像が現れたら -✦- ENTER ボタンを押します。インデックス表示画面では、方向ボタンで画像を選び、-✦- ENTER ボタンを押します。

VIEW MODE ボタンを押すと、次の順にパターンが切り換わります。

ちょっと一言

［各種設定］メニューの［画像表示］で標準パターンと全画面パターンの設定ができます。画像によっては全画面パターンで表示できないことがあります。

標準パターン

画像を切らずにそのまま表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えることができます。



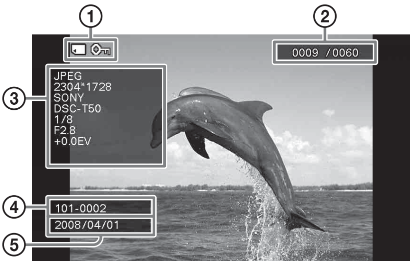
全画面パターン

画像を全画面に表示します。
←/→ ボタンで表示する画像を切り換えることができます。



撮影情報表示パターン

画像番号、ファイル名、撮影年月日などの画像情報を表示します。←/→ ボタンで表示する画像を切り換えることができます。



次の情報を表示します。

次のページにつづく

①入力・設定表示
表示されている画像の入力メディア、設定情報が表示されます。

表示	意味
(アイコン)	“ メモリースティック ” 入力
SD	SD メモリーカード入力
CF	コンパクトフラッシュカード入力
xD	xD-Picture Card 入力
USB	外部機器入力
(アイコン)	内蔵メモリー入力
(アイコン)	プロテクト表示
(アイコン)	関連付けファイル表示（E メール用の小さな画像や動画などの関連ファイルがあるときに表示されます。）

②ファイルの並び順／全画像数
③画像詳細表示
– ファイル形式（JPEG、BMP、TIFF、RAW）
– 画素数（画像の幅×画像の高さ）
– 画像入力機器のメーカー名
– 画像入力機器のモデル名
– 露出時間 （例：1/8）
– 絞り値（例：F2.8）
– 露出補正値（例：＋ 0.0EV）
④画像番号（フォルダー －ファイル番号）
DCF 準拠の画像の場合、表示されます。
⑤撮影年月日

■ インデックス表示画面の操作

選択しているメモリーカードまたは内蔵メモリー内の画像一覧を表示します。

スライドショー、時計表示、一枚表示からインデックス表示画面にするには

（インデックス）ボタンを押します。または一枚表示時には、（縮小）ボタンを押します。

ちょっと一言

本体で操作するときは、一枚表示のときにMENU からインデックス表示を選びます。

VIEW MODE ボタンを押すと、次の順にパターンが切り換わります。

標準サムネイルモード

サムネイルの一覧（横 6 列×縦 5 行）が表示されます。
←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えることができます。



大きいサムネイルモード

大きいサムネイルの一覧（横 4 列×縦 3 行）が表示されます。←/→/↓/↑ ボタンでカーソルを動かし表示する画像を切り換えることができます。



ご注意

- インデックス表示の場合、本体を縦に回転させても、表示内容は縦表示にはなりません。
- テレビ出力時は、画面サイズによって、画像数が変わります。

ちょっと一言

サムネイルとは、デジタルカメラで撮影した画像ファイルに記録されている、見出し用の小さいサイズの画像のことです。

■ 時計表示画面の操作

時計またはカレンダーを表示します。画像は表示されません。

一枚表示、スライドショー、またはインデックス表示から時計表示にするには

リモコンの (時計)ボタンを押します。

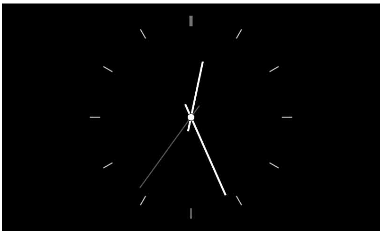
ちょっと一言

本体で操作するときは、一枚表示のときにMENUから時計表示を選びます。

VIEW MODEボタンを押すと、次の順にパターンが切り換わります。

アナログ時計パターン

現在の時刻をアナログ時計で表示します。



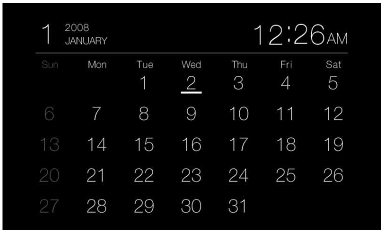
デジタル時計パターン

現在の日時と年月日をデジタル時計で表示します。



カレンダーパターン

現在の月のカレンダーを表示します。↓/↑ボタンを押して、前後の月のカレンダーを表示することができます。また、[時計設定] メニューでカレンダーの開始曜日を設定できます。



ちょっと一言

アナログ時計パターン、デジタル時計パターン、カレンダーパターンのそれぞれに、黒と白の背景色パターンがあり、6つのパターンから画面を選べます。

使ってみよう(基本編)

くっきり補正

くっきり補正とは？

くっきり補正では以下の４つの補正を同時に行います。それぞれのレベルを調整することはできません。

- 美肌効果：自動的に肌色を認識し、美しい肌に補正します。
- 逆光補正：顔検出機能を使って、明るさを補正します。
- ピンボケ補正：ピンボケの画像をフォーカスの合った画像に補正します。
- 赤目補正：フラッシュによる赤目を補正します。

1 補正したい画像を一枚表示画面で表示する。

2 MENU ボタンを押す。

メニューが表示されます。

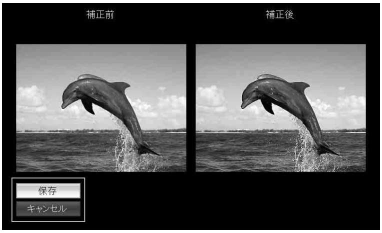


3 ↓/↑ ボタンで［くっきり補正］を選び、 ボタン押す。

選択した画像の補正が始まり、左に補正前の画像が、右に補正結果が表示されます。

ご注意

画像の状態によっては、補正に時間がかかる場合があります。



4 ↓/↑ ボタンで［保存］を選び、 ボタンを押す。

補正した画像が新しい画像として保存されます。

元の画像（補正前の画像）に戻すには

［キャンセル］を選びます。

ちょっと一言

- オリジナル画像は補正前のままです。
- 補正後の画像は、補正前の画像と同じデバイスに保存されます。
- 本体で操作するには、MENU ボタンを押し、方向ボタンで［くっきり補正］を選び、ENTER ボタンを押します。

ご注意

- 画像によっては人物の顔を自動判別できない場合があります。
- 画像によってはピンボケ補正が適切にできない場合があります。ピンボケ補正は手ブレ画像には効果がありません。
- 画像によっては赤目の補正ができない場合があります。

Red™ FotoNation®

本機の自動赤目補正は、米国 FotoNation Inc. の技術を使用してます。

SILKYPIX®

本機の美肌補正は㈱市川ソフトラボラトリー社の技術を使用しています。

再生デバイスを指定する

メモリーカード、外部機器など表示するデバイスを指定することができます。

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。

2 **↓/↑ ボタンで［再生デバイス指定］を選び、⊹ ボタンを押す。**
再生デバイスを選ぶ画面が表示されます。



ちょっと一言

選択したいデバイスが挿入されていない場合は、ここで挿入してください。

3 **↓/↑ ボタンで表示したい再生デバイスまたは外部機器を選び、⊹ ボタンを押す。**
選択した再生デバイスまたは外部機器の画像が表示されます。

ちょっと一言

本体で操作するには、MENU ボタンを押し、表示したいデバイスを方向ボタンで選び、⊹ENTER ボタンで決定します。

画像サイズと位置を調整する

画像を拡大する

1 **拡大するにはリモコンの⊕（拡大）ボタンを、拡大したものを縮小するには⊖（縮小）ボタンを押す。**
⊕ボタンを押すたびに、拡大率が増加します。最大 5 倍まで拡大できます。拡大した場合、上下左右に移動できます。

ご注意

- 拡大した場合は、画像サイズによっては画質が低下することがあります。
- 本体のボタンからは拡大･縮小はできません。

画像を回転する

1 **リモコンの ⟲（回転）ボタンを押す。**
ボタンを押すたびに、画像が反時計回りに 90 度回転します。

リモコンのメニューから操作する

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。

2 **↓/↑ ボタンで［回転］を選び、⊹ ボタンを押す。**
回転メニューが表示されます。

次のページにつづく



3 ↓/↑ ボタンで、回転方向を選び、⊕ ボタンを押す。

- ↻ ：時計回りに 90 度回転します。
- ↺ ：反時計回りに90度回転します。

4 ↓/↑ ボタンで、［OK］ を選び、⊕ ボタンを押す。

ちょっと一言

本体で操作するには、MENU ボタンを押し、項目を方向ボタンで選び、-⊕- ENTER ボタンを押して決定します。

ご注意

- 拡大した画像は回転できません。
- 回転機能は本機での表示状態を一時的に回転させるものです。そのため、回転させた画像は、電源を切る、またはカードを抜き差しすると回転前の状態に戻ります。

アルバムに追加する

大切な画像を、内蔵メモリーに保存することによって、電子アルバムとして使用できます。

ちょっと一言

アルバムに保存する画像のサイズは、最適化するか、そのまま圧縮せずに保存するかを、あらかじめメニューの［アルバム保存サイズ］で設定できます（32 ページ）。
［アルバムサイズ］の場合、約 1,000 枚保存できます。［原画サイズ］の場合、画像のサイズによって保存できる枚数が変わります。

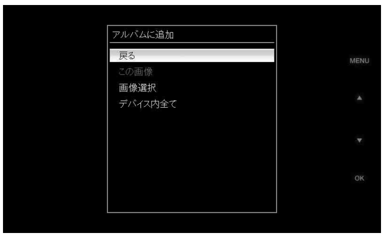
1 リモコンの ⊡（アルバムに追加）ボタンを押す。

アルバムに追加メニューが表示されます。

一枚表示の場合



スライドショーの場合



インデックス表示の場合



ちょっと一言

- リモコンのメニューで操作する場合は、MENU ボタンで、メニューを表示し、↓/↑ボタンで[アルバムに追加]を選び、⊕ボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像はアルバムに追加できません。

2 **↓/↑ ボタンで、[この画像]、[画像選択]、[デバイス内全て]を選び、⊕ ボタンを押す。**

- この画像：現在選択されている画像を追加します。（スライドショーの場合は選択できません。）
- 画像選択：画像一覧から選択した画像を追加します。
- デバイス内全て；現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を追加します。

[画像選択]を選んだ場合は、現在表示されている画像の入ったデバイスの画像一覧が表示されます。
それ以外の項目を選択した場合は、保存の確認画面が表示されます。手順 4 へ進んでください。

3 **[画像選択]を選んだ場合は、追加する画像を指定する。**

① ←/→/↓/↑ ボタンでアルバムに追加する画像を選び、⊕ ボタンを押す。
選択された画像には「✔」マークがつきます。
複数の画像を同時に追加する場合は、この操作を繰り返します。



選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」マークが消えます。

② MENU ボタンを押す。
保存の確認画面が表示されます。

4 **↓/↑ ボタンで、[はい]を選び、⊕ ボタンを押す。**

画像が内蔵メモリーに保存されます。

画像を書き出す

内蔵メモリーに保存されたアルバムの画像を、メモリーカードや外部機器に書き出すことができます。

1 **MENU ボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **↓/↑ ボタンで［書き出し］を選び、⊕ ボタンを押す。**

書き出しメニューが表示されます。



3 **↓/↑ ボタンで、［この画像］、［画像選択］、［デバイス内全て］を選び、⊕ ボタンを押す。**

- この画像：現在選択されている画像を書き出します。（スライドショーの場合は選択できません。）
- 画像選択：画像一覧から選択した画像を書き出します。
- デバイス内全て：アルバム内の全画像を書き出します

［画像選択］を選んだ場合は、アルバム内の画像一覧が表示されます。
それ以外の項目を選択した場合は、書き出すデバイスを選ぶ画面が表示されます。手順 5 へ進んでください。

4 **［画像選択］を選んだ場合は、書き出す画像を指定する。**

① ←/→/↓/↑ ボタンで書き出したい画像を選び、⊕ ボタンを押す。選択された画像には「✔」マークがつきます。
複数の画像を同時に書き出す場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」マークが消えます。

② MENU ボタンを押す。
書き出すデバイスを選ぶ画面が表示されます。

5 **↓/↑ ボタンで、画像を書き出すデバイスを選び、⊕ ボタンを押す。**



6 **書き出しが終わり、確認画面が表示されたら ⊕ ボタンを押す。**

画像が指定したデバイスにコピーされます。

ご注意

画像の書き出し中は、電源を切ったり、メモリーカードや外部機器を取りはずしたりしないでください。本機やメモリーカードを破損したり、データを破損する場合があります。

ちょっと一言

本体で操作するには、MENU ボタンを押し、項目を方向ボタンで選び、⊕ENTER ボタンを押して決定します。

画像を削除する

1 **MENU ボタンを押す。**
メニューが表示されます。

2 **↓/↑ ボタンで［削除］を選び、⊕ ボタンを押す。**
削除メニューが表示されます。

3 **↓/↑ ボタンで、［この画像］、［画像選択］、［デバイス内全て］を選び、⊕ ボタンを押す。**
- この画像：現在選択されている画像を削除します。
- 画像選択：画像一覧から選択した画像を削除します。
- デバイス内全て：現在表示されている画像の入ったデバイスの全画像を削除します。

［画像選択］を選んだ場合は、現在表示されている画像の入ったデバイスの画像一覧が表示されます。
それ以外の項目を選択した場合は、削除の確認画面が表示されます。
手順 5 へ進んでください。

4 **［画像選択］を選んだ場合は、削除する画像を指定する。**
①←/→/↓/↑ ボタンで削除する画像を選び、⊕ ボタンを押す。選択された画像には「✔」マークがつきます。
複数の画像を同時に削除する場合は、この操作を繰り返します。
選択を解除する場合は、解除したい画像を選択し ⊕ ボタンを押すと「✔」マークが消えます。
②MENU ボタンを押す。
削除の確認画面が表示されます。

5 **↓/↑ ボタンで、［はい］を選び、⊕ ボタンを押す。**
画像が削除されます。

ちょっと一言

本体で操作するには、MENU ボタンを押し、項目を方向ボタンで選び、-✦-ENTER ボタンを押して決定します。

内蔵メモリーを初期化するには

［各種設定］メニューから、「内蔵メモリーの初期化］を実行すると、内蔵メモリーのファイル（アルバム内の画像）が削除され、ご購入時の状態に戻ります。

ご注意

- スライドショーの場合は、画像を削除できません。一枚表示またはインデックス表示にしてから操作してください。
- ［プロテクトファイルは削除できません。］というメッセージが表示された場合、その画像はコンピューターで属性を「読み取り専用」に設定されています。本機では削除できないため、コンピューターに接続して、コンピューター上で削除してください。

各種設定を変更する

設定手順

スライドショー、表示、本体、言語など各種設定を変更することができます。また、設定内容や内蔵メモリーの初期化も可能です。

ご注意

内蔵メモリー以外のデバイスは初期化できません。

1 **MENU ボタンを押す。**

メニューが表示されます。

2 **↓/↑ ボタンで［各種設定］を選び、⊕ ボタンを押すと各種設定画面が表示されます。**



3 **↓/↑ ボタンで設定を変更したい項目を選び、⊕ ボタンを押す。**

選択した項目の設定画面が表示されます。



（［スライドショー設定］を選んだ場合）

4 **↓/↑ ボタンで変更したい項目を選び、⊕ ボタンを押す。**

それぞれの項目が設定できるようになります。（31 ページ）

ご注意

スライドショー表示中など本体の状態によっては、設定できない項目があります。設定できない項目はグレーで表示され、選択できません。

5 **↓/↑ ボタンで設定値を選び、⊕ ボタンを押す。**

↓/↑ ボタン（本体の場合は方向ボタン）を押すたびに、設定値が切り換わります。数値の場合は、↑ ボタンで増え、↓ ボタンで減ります。

⊕ ボタンを押すと、設定内容が確定されます。

6 **MENU ボタンを押す。**

メニューが終了します。

ちょっと一言

- 本体で操作するには、MENU ボタンを押し、項目を方向ボタンで選び、⊕ENTER ボタンを押して決定します。
- 設定を工場出荷時に戻すには、［設定の初期化］を選び、⊕ を押します。時計設定以外の調整値が無効になり、ご購入時の設定に戻ります。

設定項目

項目	設定	内容	
スライドショー設定	切り換え間隔	シングル表示またはカレンダー表示パターン時に、画像を切り換える間隔を 3 秒、10 秒 *、30 秒、1 分、5 分、30 分、1 時間、3 時間、12 時間、24 時間の間で設定します。	
	エフェクト	センタークロス	前の画像を十字型に開いて、画像を切り換えます。
		ブラインド縦	ブラインドを縦に下ろすように、画像を切り換えます。
		ブラインド横	ブラインドを横に引くように、画像を切り換えます。
		フェード *	2 枚の画像をフェードアウト、フェードインで切り換えます。
		ワイプ	一方向へ前の画像を上から覆うように、画像を切り換えます。
		ランダム	上記の 5 種類のエフェクトをランダムに使用して画像を切り換えます。
	再生順	ファイル名順 *／撮影日時順	画像をファイル名または撮影日時の順に表示します。 **ご注意** • 表示設定の画像表示順で設定した項目が表示されます。 • 画像数が 1,500 枚以上の場合は、撮影日順での表示ができません。その場合は、画像番号順に表示されます。
		ランダム	画像をランダムに表示します。
表示設定	バックライトの明るさ	液晶画面のバックライトの明るさを 1 ～ 10* のレベルで設定します。	
	画像の明るさ	画像の明るさを 1、2*、3 のレベルで設定します。 **ご注意** ただし、HDMI OUT 端子からテレビに表示した場合は機能しません。	
	画像表示	一枚表示モードの表示サイズを次のいずれかから選びます。 **ご注意** 画像データ自体は変更されません。	
		標準 *	画像全体を適切な大きさまで拡大して表示します。（上下左右に黒い帯が表示されることがあります。）
		全画面	画像の縦横比はそのままで、上下左右を一部カットして画面いっぱいに表示します。

*:工場出荷時の設定

次のページにつづく

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td rowspan="6">表示
設定</td><td rowspan="3">画像表示順</td><td colspan="2">画像を表示する順番を設定します。設定した項目がスライドショー設定の再生順に反映されます。</td></tr>
<tr><td>ファイル名順 *</td><td>ファイル名順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>撮影日時順</td><td>撮影日時順に画像を表示します。</td></tr>
<tr><td>画像縦横判別</td><td colspan="2">自動的に画像の縦横を判別する機能を ON*/OFF に設定します。</td></tr>
<tr><td>本体縦横判別</td><td colspan="2">本体を縦または横にした場合、傾斜センサーにより画像が自動的に縦または横に表示する機能を ON*/OFF に設定します。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td rowspan="8">本体
設定</td><td rowspan="3">自動電源 ON/OFF</td><td colspan="2">自動的に本体の電源を ON/OFF できるタイマー機能を設定します。次の条件で本体の電源が自動的に入るように設定できます。</td></tr>
<tr><td>自動電源 ON</td><td>[ON] を選ぶと、[自動電源 ON 時刻] が設定できるようになります。自動で電源を入れる時刻(時分)を設定します。</td></tr>
<tr><td>自動電源 OFF</td><td>[ON] を選ぶと、[自動電源 OFF 時刻] が設定できるようになります。自動で電源を切る時刻(時分)を設定します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">アルバム保存サイズ</td><td>アルバムサイズ *</td><td>画像を圧縮して内蔵メモリーに保存します。より多くの画像を保存できます。ただし、HDMI OUT 端子で大型モニターに表示した場合、オリジナル画像よりも、画質が劣化します。</td></tr>
<tr><td>原画サイズ</td><td>画像を圧縮せずにそのまま内蔵メモリーに保存します。画質の劣化はありませんが、保存できる画像の枚数が少なくなります。</td></tr>
<tr><td>HDMI 機器制御</td><td colspan="2">HDMI 端子に接続したテレビのリモコンでの操作する機能を ON*/OFF に設定します。
[ON] を選んだ場合、本機の HDMI 端子にテレビを接続すると、自動的にビデオモードに切り換わり、接続したテレビの画面に画像が表示され、テレビのリモコンで操作できるようになります。</td></tr>
<tr><td>Sony ロゴ点灯</td><td colspan="2">本機の Sony ロゴの点灯を ON*/OFF で設定します。</td></tr>
<tr></tr>
<tr><td>時計設定</td><td colspan="3">日付や時刻、カレンダー表示の開始曜日などを設定します。(16 ページ)</td></tr>
</table>

*:工場出荷時の設定

<table>
<tr><th>項目</th><th>設定</th><th colspan="2">内容</th></tr>
<tr><td>言語
設定</td><td colspan="3">液晶画面に表示される言語を設定します。
日本語 * ／英語／フランス語／スペイン語／ドイツ語／イタリア語／ロシア語／中国語（簡体字）／中国語（繁体字）／オランダ語

ご注意
工場出荷時の言語設定は、お買い上げの地域により異なることがあります。</td></tr>
<tr><td>設定の
初期化</td><td colspan="3">全ての設定値を工場出荷時の設定に戻します。ただし、カレンダーと時計の設定は保持されます。</td></tr>
<tr><td>内蔵メモリーの初期化</td><td colspan="3">内蔵メモリーを初期化します。

ご注意
• 初期化を実行すると、アルバムに追加された画像ファイルはすべて消去されますので、ご注意ください。
• コンピューターなど他の機器を使って初期化しないでください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">本体情報
表示</td><td>バージョン</td><td colspan="2">本機のファームウェアのバージョンが表示されます。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">内蔵メモリー</td><td>総容量</td><td>初期状態において内蔵メモリーで利用可能な最大容量が表示されます。</td></tr>
<tr><td>残容量</td><td>現在使用可能な内蔵メモリーの空き容量が表示されます。</td></tr>
</table>

*：工場出荷時の設定

ハイビジョンテレビにつないで見る

ハイビジョンテレビとつなぐ

本機は HDMI 出力が可能です。HDMI 入力があるテレビにつなぐと、テレビでより高精細な画像を表示することができます。

「BRAVIA プレミアムフォト」について

本機は、「BRAVIA プレミアムフォト」に対応しています。「BRAVIA プレミアムフォト」とは、写真らしい高精細で微妙な質感や色あいの表現を可能にする機能です。「BRAVIA プレミアムフォト」に対応したソニー製テレビと本機を、HDMI ケーブル（別売）で接続すると、写真を今までなかった感動の Full HD 画質で楽しめます。

ご注意

元の画像によっては、高精細表示されない場合があります。

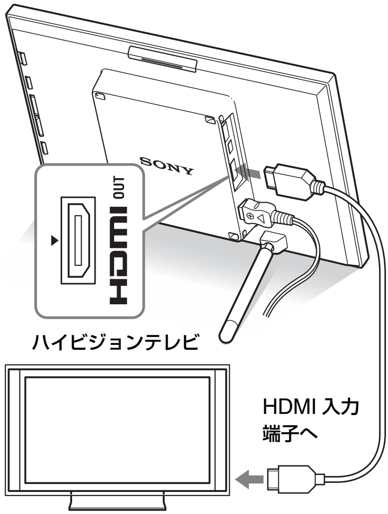
1 **AC アダプターを本機につなぎ、電源コードを AC アダプターとコンセントに差込む。（13 ページ）**

2 **市販の HDMI ケーブルを用意する。**

ご注意

- HDMI ケーブルは 3m 未満のものをお使いください。
- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴを取得したケーブルをお使いください。

3 **本機の HDMI OUT 端子 (AType コネクター）と、テレビの HDMI 入力端子をつなぐ。**



4 **本機の電源を入れる。**

5 **テレビの入力を切り換える。**

本機を HDMI 機器制御対応のテレビに接続し、本機の電源を入れると、テレビがスタンバイの場合は自動的に電源が入ります。また、テレビの入力切換が自動的に切り換わり、フォトフレームからの画像が表示されます。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- テレビに接続中は、本機の液晶画面の表示は消えます。
- テレビの設定で [HDMI 機器制御] が OFF になっている場合は切り換わりません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI 機器制御に対応していないテレビをお使いの場合、または、切り換わらない場合、手動でテレビの入力を切り換えて表示してください。

- 入力切換の操作方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- アルバムに追加、画像の書き出し、画像の削除の実行中はHDMIケーブルを抜き差ししないでください。途中でHDMIケーブルを抜き差しした場合、処理はキャンセルされます。

テレビのリモコンを使って操作する

HDMI 機器制御に対応したテレビの場合、テレビ付属のリモコンで本機の操作をすることが可能です。

ご注意

- すべてのテレビとの動作を保証するものではありません。
- ソニー製テレビの場合は、リモコンに[リンクメニュー]ボタンがついているテレビ以外では、リモコンで操作はできません。
- 本機を操作するには、リモコンの ←→↑↓[決定][戻る]ボタンがHDMI 機器制御に対応している必要があります。
- テレビの設定でHDMI機器制御がOFFになっている場合はリモコンでの操作はできません。設定方法は、テレビによって異なります。テレビに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の「HDMI 機器制御」が「切」になっている場合はリモコンでの操作はできません。

テレビリモコンでのフォトフレームの基本操作

- ←→↑↓ を押すと、一枚表示画面における画像が切り換わります。
- ［ENTER］を押すと、一枚表示画面とスライドショーを切り換えることができます。

ご注意

リモコン操作では、下記の操作はできません。
- VIEW MODE ボタンによる画面の切り換え
- メニューにある機能の実行
- 拡大／縮小

HDMI 機器制御について

本機では、「HDMI 機器制御」が「入」の状態で、以下の機能を使用することができます。

- テレビと連動してフォトフレームの電源を切ることができます。
- フォトフレームをテレビに接続後、電源を入れるか、電源が入った状態のフォトフレームをテレビに接続することで、テレビの入力をフォトフレームに切り換えることができます。この際、テレビがスタンバイ状態の場合には連動して電源が入ります。
- テレビのリモコンを使用してフォトフレームの操作を行うことができます。
- フォトフレームとテレビが接続された状態で、テレビの表示言語を切り換えると、連動してフォトフレームの表示言語を切り換えます。

ご注意

ご使用のテレビがそれぞれの機能をサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器と使う

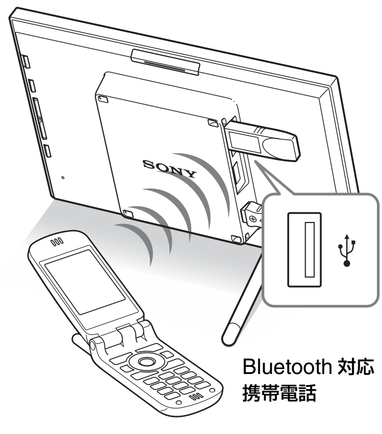
本機の USB A 端子に Bluetooth アダプター（別売）を接続し、Bluetooth 対応の携帯電話などの機器から画像を転送することができます。転送された画像は内蔵メモリーに保存されます。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、電源コードを AC アダプターとコンセントに差込む。（13 ページ）**

2 **本機の電源を入れる。**

3 **Bluetooth アダプター（別売）を本機の USB A 端子に接続する。**

4 **携帯電話から操作して、本機に画像を転送する。**



ご注意

すべての Bluetooth 機器について無線通信などの動作を保証するものではありません。

外部機器から画像を転送する

本機とマスストレージ対応のデジタルカメラ、USB メモリー、フォトストレージを接続し、画像を転送できます。

ご注意

- すべての外部機器との接続を保証するものではありません。
- メモリーカードを再生中、USB A 端子に外部機器を接続すると、表示するデバイスは外部機器に切り換わります。

1 **AC アダプターを本機につなぎ、電源コードを AC アダプターとコンセントに差込む。（13 ページ）**

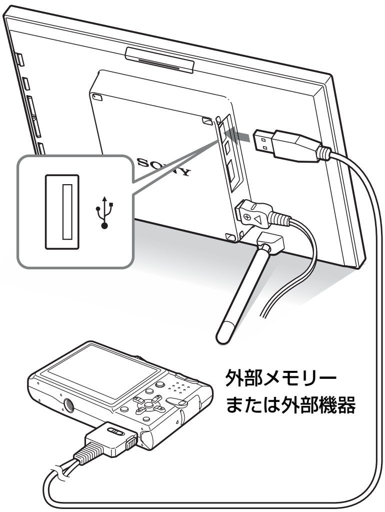
2 **デジタルカメラや外部機器の設定をマスストレージ接続モードにする。**

接続前に必要な設定や操作方法は、デジタルカメラや外部機器によって異なります。デジタルカメラや外部機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
（Cyber-shot をご使用の場合は、USB 接続を [標準] または、[Mass Storage] に設定します。）

3 **本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。**

4 **デジタルカメラや外部機器を本機の USB A 端子に接続する。**

デジタルカメラや外部機器に付属されている USB ケーブルを使って、本機に接続してください。



ご注意

- 市販の USB ケーブルをお使いになる場合は、長さ 3m 未満の A-TYPE の USB ケーブルをお使いください。
- 外部機器のアクセスランプが点滅中に、USB ケーブルを抜いたり、本機および外部機器の電源を切らないでください。外部機器内のデータが破損する場合があります。データの破損、消失については責任は負いかねます。
- USBハブや、USBハブを内蔵したUSB機器は正常に動作しない場合があります。
- 指紋認証やパスワードなどによって暗号化、圧縮されたデータは、本機ではご使用になれません。

コンピューターにつなぐ

本機とコンピューターをつなぎ、コンピューターから本機の内蔵メモリーの画像を閲覧、コピーしたり、コンピューターの画像を本機にコピーすることができます。

必要なシステム構成

本機と接続してお使いになるには、以下の推奨動作環境を満たしたコンピューターが必要です。

■ Windows

推奨 OS:	Microsoft Windows Vista / Windows XP SP2 / Windows 2000 Professional SP4 （工場出荷時にインストールされていること）
ポート	USB ポート

■ Macintosh

推奨 OS:	Mac OS X（10.4）以降 （工場出荷時にインストールされていること）
ポート	USB ポート

ご注意

- 1 台のコンピューターに複数の USB 接続をした、またはハブを使用した場合は、不具合が発生することがあります。
- 同時に接続された他の USB 機器から本機を操作することはできません。
- データ通信中は USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- 推奨環境を満たす、すべてのコンピューターについて動作を保証するものではありません。

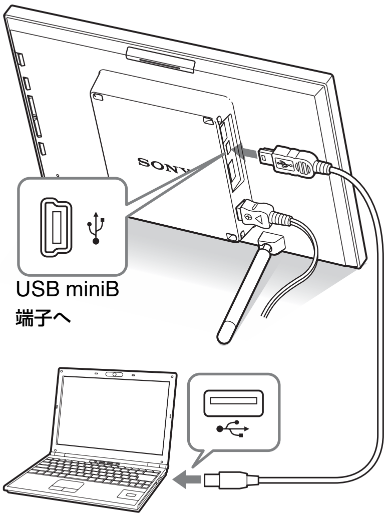
次のページにつづく

- USB 接続については、コンピューターおよび、ソニー製デジタルフォトプリンターとの接続で動作確認を行っています。その他の機器に接続した場合、内蔵メモリーを参照できない場合があります。

コンピューターと接続して画像をやりとりする

1 **AC アダプターを本機につなぎ、電源コードを AC アダプターとコンセントに差込む。（13 ページ）**

2 **コンピューターと本機を USB ケーブルで接続する。**



ご注意

USB ケーブルは、長さ 3m 未満の miniB-TYPE をお使いください。

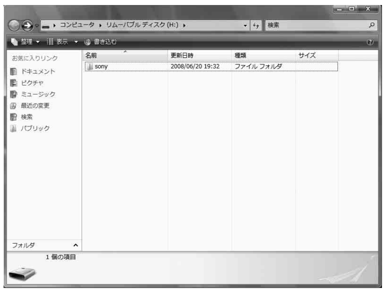
3 **本機の ⏻（電源）ボタンを押して電源を入れる。**

4 **コンピューターの画面に［自動再生］画面が表示されたら、［フォルダを開いてファイルを表示］をクリックする。**

［自動再生］画面が表示されない場合は、「マイコンピュータ」からリムーバブルディスクを選び、開いてください。

5 **カーソルをウィンドウの中に移動して右クリックし、［新規作成］－［フォルダ］をクリックする。**

作成したフォルダーに名前をつけます。ここでは仮に「sony」としています。



6 **作成した「sony」フォルダーを開く。**

7 **コピーしたい画像ファイルが保存されているフォルダーを開き、ドラッグ・アンド・ドロップで「sony」フォルダーにファイルをコピーする。**

ご注意

- コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作って、そのフォルダーに保存してください。フォルダーを作成せずに保存できる画像ファイル数は、最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少する場合があります。

- コンピューター上で画像ファイルを編集または保存した場合、更新日時が変更されることがあります。その場合、撮影日時が変更されるため、インデックス表示などで撮影日時の順番で表示されないことがあります。
- コンピューター内の画像ファイルを、本機の内蔵メモリーに保存する場合、画像ファイルは圧縮されずに保存されます。そのため、本機の内蔵メモリーに保存できる画像の枚数が少なくなる場合があります。
- コンピューター上で作製、加工した画像ファイルは、本機では表示できない場合があります。また、コンピューター上で「読み取り専用」属性に設定されている画像ファイルは、本機では削除できません。保存する前に属性を変更してください。

エラーメッセージが表示されたら

本機の液晶画面に次のようなエラーメッセージが表示されることがあります。以下に従って対処してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器がありません。	• メモリーカードがそれぞれのスロットに入っていません。または外部機器が A-TYPE USB 端子に接続されていません。メモリーカードをそれぞれのスロットに入れてください。または、外部機器を接続してください。（→17 、36 ページ）
非対応メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器が挿入されています。	• 非対応のメモリーカードが挿入されています。または、A-TYPE USB 端子に非対応の外部機器が接続されました。本機に対応しているメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
画像がありません。	• メモリーカードまたは外部機器内に画像ファイルがありません。本機で表示できる画像ファイルの入ったメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
プロテクトファイルは削除できません。	• プロテクトファイルを削除するには、お使いのデジタルカメラでプロテクト設定を解除してください。
プロテクトされています。プロテクトを解除して、もう 1 度実行してください。	• メモリーカードが書き込み禁止になっています。誤消去防止スイッチを解除してください。（→48 ページ）
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器が容量不足です。	• メモリーカードまたは外部機器の容量が一杯のため、追加保存できません。画像を削除するか、容量のあるメモリーカードまたは外部機器をお使いください。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器にエラーがあります。	• 何らかのエラーが発生しています。何度もこのエラーが表示される場合は、本機以外の機器でもメモリーカードまたは外部機器の状態をご確認ください。 * 外部機器の場合 外部機器が書込み禁止になっている可能性があります。お使いの機器の書込み禁止設定を解除してください。デジタルカメラの内蔵メモリーは、書込み禁止の場合があります。
メモリースティック／コンパクトフラッシュカード／ SD メモリーカード／ xD-Picture Card ／外部機器への書き込みエラーです。	
読み出し専用のメモリースティックです。	• 読み出し専用の“メモリースティック”が挿入されています。書き出しをおこなうには、書き込みのできる“メモリースティック”を挿入してください。

エラーメッセージ	意味／処理
メモリースティックは保護されています。	• 保護されている“メモリースティック”が挿入されています。画像の編集、保存を行う場合は、お手持ちの機器で保護を解除してください。
サポートしていないフォーマットです。	• 本機でサポートしていないフォーマットの画像ファイルは、本機では表示したり、開くことができません。
この画像を開くことができません。	
USB ハブをこれ以上接続しないでください。	• 本機に直接つなぐか、USB ハブを内蔵していない機器をお使いください。
非対応の USB 機器が接続されました。接続した機器の USB 設定を確認してください。	• マスストレージに非対応の外部機器が接続されています。または外部機器の USB 設定がマスストレージに設定されていません。マスストレージ対応の外部機器をお使いになるか、USB 設定を確認して設定をマスストレージに変更してください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう１度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。

電源

症状	チェック項目	対処方法
電源が入らない。	• 電源プラグが正しく差し込んでありますか？	→ 正しく接続してください。

画像を表示する

「電源は入っているが画像が表示されない。」または、「操作画面の設定ができない。」こんな時は以下のチェック項目を確認してください。

症状	チェック項目	対処方法
画面に画像が表示されない。	• メモリーカードや外部機器は正しく接続されていますか？	→ 正しく接続してください。（→17、36 ページ）
	• メモリーカードにはデジタルカメラなどで保存した画像が入っていますか？ • また、外部機器には画像が保存されていますか？	→ 画像の入っているメモリーカードまたは外部機器を接続してください。 → 表示可能なファイルフォーマットを確認してください。（→50 ページ）
	• ファイルフォーマットはDCFに準拠していますか？	→ DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で画像が表示されていますか？	→ インデックス表示で画像が表示されているのに一枚表示できない場合は、サムネイルと呼ばれる表示用データは問題ありませんが、1 枚表示させるための画像データが壊れている可能性があります。 → DCF に準拠していないファイルはコンピューターで表示できても、本機では表示できない場合があります。
撮影日時順に表示されない。	• コンピューターから保存した画像ではないですか？ • コンピューターで編集した画像ではないですか？	→ コンピューター上で保存すると、ファイルの更新日時が変更されるため、撮影日時ではなく、保存された日時の順番で画像が表示されることがあります。

症状	チェック項目	対処方法
一部の画像が表示されない。	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？  • コンピューターのアプリケーションで作成した画像ではありませんか？	→ 左のマークが表示されている場合は、コンピューターで作成した JPEG ファイルなど、本機が対応していない画像ファイルか、対応している画像ファイルでも、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データ部分がない画像ファイルです。このマークを選択し、⊕ ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は本機で対応できない画像ファイルのため、表示はできません。
	• インデックス表示で、下のマークが表示されていますか？ 	→ 左のマークが表示されている場合は、本機が対応している画像ファイルですが、サムネイルと呼ばれている表示用の画像データが開けないか、または本画像が開けません。このマークを選択し、⊕ ボタンを押して一画面表示にしても、左のマークが表示される場合は表示はできません。
	• メモリーカードまたは外部機器内の画像枚数が 9,999 枚を超えていませんか？	→ 本機で再生、保存、削除など、扱える画像ファイル数は最大で 9,999 枚です。
	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機で画像が表示できない場合があります。
	• メモリーカードまたは外部機器内に 8 階層以上のフォルダーがありませんか？	→ 8 階層を超えるフォルダー内にある画像データは、本機では表示できません。
ファイル名が正しく表示されない。	• コンピューターなどでファイル名を変更しましたか？	→ コンピューターでファイル名をつけたり変更した場合、ファイル名に半角英数字以外の文字が含まれていると、本機でファイル名が正しく表示されない場合があります。また、コンピューターなどで作成したファイルは、ファイル名の最初から最大 8 文字が表示されます。 **ご注意** 英数字のみ表示対象になります。
画面に上下の余白ができる。	• 極端に縦長または横長の画像ではありませんか？	→ 極端に縦長または横長の画像は、比率の関係で余白が生じることがあります。

次のページにつづく

画像を保存、削除する

症状	チェック項目	対処方法
保存できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ 書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• メモリーカードが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（→29ページ）または、充分なメモリー残量のあるメモリーカードに交換してください。
	• 内蔵メモリーが一杯になっていませんか？	→ 不要な画像を削除してください。（→29ページ）
	• フォルダーを作成せずにコンピューターから画像を保存していませんか？	→ フォルダーを作成していない場合、保存できる画像ファイル数は最大 512 枚までです。さらに、ファイル名の長さや文字の種類によって、保存できる枚数が減少することがあります。コンピューターから画像を保存するときは、コンピューター上で内蔵メモリーにフォルダーを作成して、そのフォルダーに保存してください。
削除できない。	• メモリーカードが書き込み禁止になっていませんか？	→ お手持ちの機器で書き込み禁止設定を解除して、再度保存してください。
	• メモリーカードの誤消去防止スイッチが［LOCK］になっていませんか？	→ 誤消去防止スイッチを解除してください。
	• " メモリースティック -ROM" ですか？	→ " メモリースティック -ROM" については、画像の削除と初期化はできません。
誤って消してしまった。	ー	→ 1 度削除したファイルは元に戻せません。

デジタルカメラなどの外部機器との接続

症状	チェック項目	対処方法
カメラを接続しても何も示されない。	• ケーブルが正しく接続されていますか？	→ ケーブルを正しく接続してください。
	• 本機の電源は入っていますか？	→ 本機の電源を入れてください。
USB ケーブルを抜き差ししても何も起こらない。	ー	→ オーバーカレント（過電流）エラーが発生した可能性があります。 復帰するには、本機の電源をもう 1 度入れなおしてください。

症状	チェック項目	対処方法
テレビ画面、液晶画面のどちらにも表示されない	• テレビの入力切換が外部入力になっている	→ テレビの入力切換がフォトフレームになっていなくても、HDMI ケーブルが接続されている場合、テレビ画面にも液晶画面にも表示されない場合があります。 → テレビの入力をフォトフレームに切り換えるか、HDMI ケーブルを抜いて液晶画面表示に切り換えてください。

本体

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない。	ー	→ 背面のリセットスイッチを細い物で押してください（工場出荷時の設定に戻ります）。 （➡10 ページ）

リモコン

症状	チェック項目	対処方法
何も反応しない	• 電池は入っていますか？	→ 電池を交換してください。（➡12 ページ） → 電池が入っていません。（➡12 ページ） → 電池が正しく入っていません。（➡12 ページ）
	ー	→ リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて操作してください。（➡12 ページ） → 本体リモコン受光部の近くには物を置かないでください。

使用上のご注意

設置上のご注意

- 水平な場所に置いてください。
- ぶつけたり、落としたりしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - 不安定なところ
  - ほこりの多いところ
  - 極端に寒いところや暑いところ
  - 振動の多いところ
  - 湿気の多いところ
  - 直射日光の当たるところ

AC アダプターについてのご注意

- 電源コンセントの形状は各国、各地によって異なりますのでお出かけ前にご確認ください。本機を海外旅行者用の電子式変圧器（トラベルコンバーター）に接続しないでください。発熱や故障の原因になります。
- 付属以外の AC アダプターを使用しないでください。

結露について

結露とは、寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部に水滴がつくことです。
この状態で本機を使用すると、正常に動かず、故障の原因となります。結露の可能性のあるときは、電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

引っ越しなどで輸送する場合は

輸送する場合は、メモリーカード、外部機器、AC アダプター、ケーブル類を本体から取りはずし、本機が梱包されていた梱包材および梱包箱に入れてください。これらがない場合は、輸送中の衝撃に耐えるように梱包してください。

お手入れ

本機の汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布をかたくしぼってから、汚れをふきとってください。シンナーやベンジン、アルコールなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

複製の禁止事項

他人の著作権の目的となっている絵画、写真、書籍などは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

メモリーカードについて

“ メモリースティック ”

本機でお使いになれる “ メモリースティック ”

本機では以下の“メモリースティック”をご使用になれます。*1

“ メモリースティック ” の種類	表示	削除・保存
“ メモリースティック ”*2（マジックゲート非対応）	○	○
“ メモリースティック ”*2（マジックゲート対応）	○*5	○*5
“マジックゲートメモリースティック ” *2	○*5	○*5
“ メモリースティック PRO” *2	○*5	○*5
“ メモリースティック PRO-HG” *2	○*5*6	○*5*6
“ メモリースティック マイクロ ”*3（“M2”*4)	○*5	○*5

*1 本機は FAT32 に対応しています。8GB までのソニー製 “ メモリースティック ” で動作確認を行っています。ただし、すべての “ メモリースティック ” メディアの動作を保証するものではありません。

*2 本機には、スタンダード／デュオ サイズ対応スロットが搭載されています。“ メモリースティック デュオ ” アダプターなしで、標準サイズの “ メモリースティック ”、小型の “ メモリースティック デュオ ” のどちらでもご使用いただけます。

*3 “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“ メモリースティック マイクロ ” を M2 アダプターに入れてからお使いください。

*4 “M2”は、“メモリースティック マイクロ”の略称です。本文では今後略称 “M2” を用いて記述します。

*5 著作権保護技術（“ マジックゲート ”）が必要なデータの読み込み、記録はできません。“ マジックゲート ” とは、ソニーが開発した、暗号化技術を使って著作権を保護する技術の総称です。

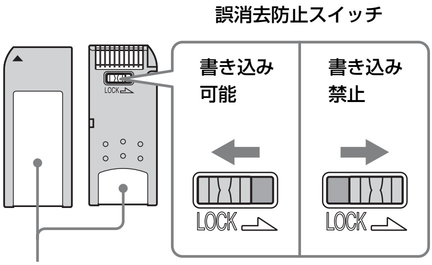
*6 本機は、8 ビットパラレルデータ転送には対応しておりません。

使用上のご注意

- 使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「“ メモリースティック ” 対応表」をご確認ください。（裏表紙）
- 複数の“メモリースティック”を同時に挿入しないでください。機器の破損の原因となる場合があります。
- “ メモリースティック マイクロ ” を本機でお使いの場合は、必ず “ メモリースティック マイクロ ” を M2 アダプターに入れてからお使いください。
- M2 アダプターに装着されていない状態で挿入されますと、“ メモリースティック マイクロ ” が取り出せなくなる可能性があります。
- デュオサイズの M2 アダプターに “ メモリースティック マイクロ ” を入れ、それをさらにメモリースティック デュオアダプターに入れて使用した場合、動作しない場合があります。
- “メモリースティック”を初期化するときは、ご使用になっているデジタルカメラで初期化してください。パソコンでフォーマットした場合、画像が表示されないことがあります。

次のページにつづく

- フォーマットを実行するとプロテクトをかけてある画像ファイルもすべて削除されます。誤って大切なデータを削除することがないように、ご注意ください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると保存、削除ができなくなります。



- ラベル貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。また、ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部にはみ出さないように貼ってください。

SD メモリーカード

本機では下記をご使用になれます。
- SD メモリーカード[*1]
- miniSD カード、microSD カード（アダプターが必要です）[*2]
- SDHC メモリーカード[*3]
- MMC 規格メモリーカード[*4]

ただし、すべての SD メモリーカード、MMC 規格メモリーカードの動作を保証するものではありません。

[*1] 2GB までの SD メモリーカードで動作確認を行っています。
[*2] 市販のカードアダプタによっては、裏面中央部に端子が出ているものがあります。本機では、このようなタイプのアダプターは正しく動作しない場合があります。
[*3] 8GB までの SDHC メモリーカードで動作確認を行っています。
[*4] 2GB までの MMC 規格メモリーカードで動作確認を行っています。

使用上のご注意

- 著作権保護技術が必要なデータの読み込み、記録はできません。

xD-Picture Card

本機は、xD-Picture Card[*5] をご使用になれます。ただし、すべての xD-Picture Card の動作を保証するものではありません。

[*5] 2GB までの xD-Picture Card で動作確認を行っています。

コンパクトフラッシュカード

本機では下記をご使用になれます。
- CompactFlash Memeory Card（Type I/Type II）または CF+Card（Type I/Type II）準拠のコンパクトフラッシュカード（[*6]）
- マイクロドライブ

また、市販のコンパクトフラッシュカードアダプター（[*7]）をお使いになることにより、スマートメディアをご使用になれます。
ただし、すべてのコンパクトフラッシュカードの動作を保証するものではありません。

[*6] コンパクトフラッシュカードは、電源仕様が 3.3V あるいは、3.3V/5V のものをお使いください。5V 専用、または 3V 専用のタイプは、お使いになれません。対応以外のメモリーカードを無理にお使いになると、本機の故障の原因となります。8GB までのコンパクトフラッシュカードで動作確認を行っています。
[*7] 市販のコンパクトフラッシュカードアダプターをお使いの場合は、取り付け方法、使用方法については、アダプターの取扱説明書をご覧ください。アダプターによっては、メモリーカードのライトプロテクトをすると正しく動作しない場合があります。

カード使用上のご注意

- ご使用の際は、正しい挿入方向をご確認のうえご使用ください。間違ったご使用は機器の破損の原因となります。
- メモリカードを挿入するとき、無理な力をくわえて挿入をすると、メモリカードまたは本機を破損する恐れがあります。
- データの読み込み、書き込み中、アクセス中に、カードを抜かないでください。または電源を切らないでください。データが消えたり壊れたりすることがあります。
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- パソコンで加工した画像は、再生できないことがあります。
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  – 使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
  – 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  – 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

主な仕様

■ 本体

液晶画面

液晶パネル：
DPF-V900：9型、TFT駆動
DPF-V700：7型、TFT駆動
総ドット数：
DPF-V900：1,080,000
（750×3（RGB）×480）ドット
DPF-V700：1,152,000
（800×3（RGB）×480）ドット

表示アスペクト比

15:9

有効表示画面サイズ

DPF-V900：8.6型
DPF-V700：７型

液晶バックライト寿命

DPF-V900：15,000時間
DPF-V700：20,000時間
（バックライトの輝度が半減するまでの時間）

最大デコードファイルサイズ

100MB

入出力端子

HDMI OUT端子（A TYPEコネクター、1080i（60Hz）/1080i（50Hz）/720p（60Hz）/720p（50Hz）/576p（50Hz）/480p（60Hz）対応、BRAVIAリンク対応）
USB端子（miniB、full-speed）
Bluetooth/USB A端子（Type A、full-speed）
“メモリースティック PRO”スロット
SD/MMC/xD-Picture Cardスロット
コンパクトフラッシュカード／マイクロドライブスロット

次のページにつづく

表示可能なファイルフォーマット

JPEG： DCF 2.0準拠、Exif 2.21準拠、JFIF*1

TIFF： Exif 2.21準拠

BMP*8：1、4、8、16、24、32ビットWindows形式

RAW（簡易再生*2）：

SRF、SR2、ARW（2.0まで）

画像の形式によっては、対応できないことがあります。

最大再生画素数

8,000×6,000ドット

ファイルシステム

FAT12/16/32、
セクタサイズ 2048バイト以下

画像ファイル名

DCF形式、256文字、8階層以下

最大画像ファイル数

メモリーカード1枚／
外部機器1台につき9,999枚

内蔵メモリー容量 *3

512 MB

（保存ファイル数：約1,000枚*4）

電源

DC IN端子入力、DC8.4V

消費電力

DPF-V900: 12W
DPF-V700: 8W

動作温度

5℃～35℃

外形寸法

DPF-V900: 約245×162×38.5 mm
DPF-V700: 約207×137×38.5 mm
(幅／高さ／奥行き)
(スタンド部分含まず)
DPF-V900: 約245×162×145 mm
DPF-V700: 約207×137×125 mm
(幅／高さ／奥行き)
(スタンドセット時)

質量

DPF-V900：約800g
DPF-V700：約550g
（ACアダプター含まず）

同梱品

「同梱品を確認する」（9 ページ）参照

■ AC アダプター AC-L200

定格入力

AC100V - 240V、50/60Hz

消費電力

18W

定格出力

DC 8.4V、1.7 A

外形寸法

約48×29×81mm
（幅／高さ／奥行き）
（最大突起部のぞく）

質量

約170 g（本体のみ）

その他の仕様については、AC アダプターのラベルをご覧ください。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

*1 4:4:4、4:2:2、4:2:0 形式のベースラインJPEG

*2 RAW ファイルサムネイルがそのまま表示されます。

*3 容量は、1MB を 100 万バイトで計算した場合の数値です。また、管理用ファイル、アプリケーションなどをふくむため、実際に使用できる容量は減少します。ご使用頂けるユーザー容量は、約 400MB です。

*4 保存枚数は、200 万画素相当の画像を保存した場合の目安です。被写体および撮影条件によって異なります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- 所定事項に記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう 1 度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、またはソニーの相談窓口へご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルフォトフレームの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーの相談窓口にご相談ください。ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名：DPF-V900/V700
- 故障の状態：できるだけくわしく
- お買い上げ年月日
- コンピューターをご使用の場合はコンピューターの環境：
  – ご使用コンピューターの機種名
  – メモリー容量
  – ハードディスクなどの容量

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

➡ 2 ページもあわせてお読みください。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属物や燃えやすい物など）を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 製品と壁や棚の間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーの相談窓口に交換をご依頼ください。

機器本体や付属品は、幼児の手の届かない場所におく

禁止

内部に手を入れると、挟まれてけがをしたり、温度の高い部分にさわってやけどをすることがあります。また、本体小物部品、電源の保護シート、“ メモリースティック ” などのメモリーカードや、デュオサイズの M2 アダプターなどの変換アダプターを飲み込む恐れがあります。幼児の手の届かない場所に置き、お子様が触らぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

付属の AC アダプター以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差したり、使用しないでください。感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所では使わない

火災や感電の原因となります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、落ちたり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

禁止

コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続、配置してください。

指示

通電中の本機や AC アダプターに長時間触れない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

接触禁止

移動させるとき、長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

本機やAC アダプターを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

本体内部の部品をさわらない

機構部品により、けがの原因となることがあります。
また、高温になった部品にさわると、火傷の原因となることがあります。
ケースが破損しても本体内部の部品には触れないでください。
高電圧部品により感電することがあります。

接触禁止

次のページにつづく

⚠注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体の上に乗らない、重いものを載せない

落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

液晶画面に衝撃を与えない

液晶画面に強い衝撃を与えると割れて、怪我の原因となることがあります。

禁止

お手入れの際は、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

禁止

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。

禁止

電源コードや接続ケーブルを AC アダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止

雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

本機や電源プラグなどに触れると感電の原因となります。

接触禁止

デバイスの取り付け、または取りはずすときは本体を持つ

メモリーカード、コネクターなどを本機に取り付けたり、取りはずすときは、本体に手を添えて行ってください。
本機が落ちると、けがの原因となることがあります。

指示

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

ぬれ手禁止

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間が経ってから症状が現れることがあります。

指示

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

禁止

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときはただちに医師に相談してください

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

禁止

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

指定以外の電池を使わない

禁止

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
指定の電池をお使いください。電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

指示

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

指示

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンの電池ホルダーを開けて使用しない

指示

リモコンの電池ホルダーを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
指定の電池を使用し、電池ホルダーを閉めて使用してください。

索引

アルファベット順

五十音順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

デジタルフォトフレームの商品や最新サポート情報（製品に関するQ&A、OS対応情報など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/DPF/

メモリースティック対応表

使用可能な“メモリースティック”を確認できます。
http://www.sony.co.jp/ mstaiou/

電話で問い合わせる（おかけ間違いにご注意ください。）

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話	0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に

「403」＋「#」

を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389　**受付時間** 月～金:9:00～20:00 土・日・祝日:9:00～17:00

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

■ カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。詳しくは、同封のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/dpp-regi/

ソニー株式会社　〒 108-0075 東京都港区港南 1-7-1

この説明書は VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/　Printed in China